



歌に踊りにイキイキと

6月15～17日までの3日間、ヤングアメリカンズが行われました。ヤングアメリカンズとは、アメリカ人を中心とした大学生が、ワークショップ(出張授業)をしてくれるものです。歌や踊りを中心とした



パフォーマンスを子ども達に教えてくれるのです。歌はほとんどが英語で歌われます。踊りは、アップテンポやバラードなどの曲や歌に合わせたものです。参加学年は4年・5年の男女195名。

1日目の午前、教室では準備が始まりました。名札作りです。名札といっても簡単なもので、黄色いガムテープの上に黒色の油性ペンで名前を書きます。当然ローマ字で書きます。たどたどしいローマ

字が黄色のガムテープに浮かび上がりました。これを体操服の左胸に貼るのです。この作業から子ども達はソワソワしました。あと数時間すれば、ヤングアメリカンズの人達と対面することになるのです。

体操服に着替え、水筒、体育館シューズを持って高校の体育館にいざ出陣。妙に無口な子ども、テンションの高い子どもの長い列が続きます。体育館の入り口には、もっともっとテンションの高いヤングアメリカンズの人々が迎えてくれました。ヤングアメリカンズの人達とのハイタッチで入っていきます。すると猛烈に大きな音がスピーカーから響ってきたのです。

4年生・5年生が3つのグループに分かれ、それぞれのグループを数人のヤングアメリカンズの人達が担当してくれました。英語のシャワーが浴びせかけられます。時折日本人のヤングアメリカンズが通訳してくれました。ホッとします。それもつかの間、

現れたのです。規則正しく道を流れていく車のように、子ども達は動いていきました。もうそこには恥じらいやためらいもありません。そんな余裕すらないのです。ヤングアメリカンズの歌や踊りは絶え間なく繰り返されました。子ども達はヤングアメリカンズの中のヤングジャパニーズになったのです。

最後の日、ショーが6年生や保護者の前で繰り広げられました。今までと違い観客がいます。そんな状況の中で、子ども達はそりい(Tシャツ)をまとい、自分自身に打ち勝った顔立ちになっていました。熱い熱い3日間が幕を閉じました。



次のパフォーマンスの練習が始まります。子ども達はすぐに慣れるものです。見よう見まねで踊りまわります。休み暇もない。どんどん子ども達は踊りを自分のものにしていったのです。

2日目は丸一日中歌に踊りに明け暮れました。もう子ども達は、そばにいる先生達に話しかけてもきけません。ヤングアメリカンズの思うつぼなのでしょう。確実に大きな流れに子ども達は巻き込まれていきました。

午後の練習中に何人かの子ども達がヤングアメリカンズの人に連れて行かれました。少々不安そうなる姿がその場から消えていったのです。数分後、衣装を着て役になりきった子ども達がステージに

力をあわせてジャンプ 白熱! 大縄大会
7月4日の帰朝礼で、全児童あがりの「大縄大会」が行われました。体育委員会の子ども達が企画しました。大縄を3分間回している間に、何回跳べるかを競います。連続跳びでなくてもかまいませんが、必ず一人ずつ飛んでいきます。1カ月前くらいから休み時間や終わりの時間に、クラスで練習が始まりました。



始めは縄が怖かったり、なかなか跳べなかったり、おもしろくないと言っていた子どももいました。しかし、クラスで何度も練習したり、昼休みに級友と一緒に練習したり、大縄大会の日には、他のクラスに負けないよ、と頑張っていました。大縄大会の日には、他のクラスに負けないよ、と頑張っていました。大縄大会の日には、他のクラスに負けないよ、と頑張っていました。

生のお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に大縄をして、いっしょに楽しんでいます。大縄大会の日には、他のクラスに負けないよ、と頑張っていました。大縄大会の日には、他のクラスに負けないよ、と頑張っていました。

1年
おとなわたいかい、みんなが、がんばってチャレンジしてくれたから、もくひょうの17かいを、こえることができました。とても、うれしかったです。しんどかったけど、またチャレンジしたいです。
2かきのがくえんチャレンジは、てつぼうがしたいです。どうしてかという、さかあがりをはがらばりたいからです。

3年
わたしは、1学期に、「算数チャレンジ問題」にちょうせんしました。問題をやってみたら、全部まちがってしまいました。1年生でも、正かいている子がいるのを見て、「1年生だけど、頭のいい子がいるんだなあ」と、感心しました。
2学期にチャレンジしたいことは、やっぱり「算数チャレンジ問題」です。2学期には、「1つでも正かいてきたいなあ」と、思っています。

6年
1学期、私がチャレンジしたことは、1年生と仲良くなることです。このチャレンジは、簡単そうに見えて、私には、とても難しいチャレンジでした。
1年生と初めて会ったとき、「心臓が爆発するかも」というくらい、とてもきんちようしたことを覚えています。でも、1年生の笑顔に勇気をももらって、たくさんおしゃべりができて、仲良くなることができました。今も、とても楽しく過ごしています。
チャレンジには、勇気がいりけれど、勇気の向こうには、自分やみんなの笑顔があることに気が付きました。2学期、もっと笑顔でいられるように、もっとみんなを笑顔にできるように、さらに色々なことにチャレンジしていきたいと思えます。「がんばりましょう! 学園チャレンジ!」

みんなを笑顔に 学園チャレンジ

今年度の児童目標「一人一人の挑戦がみんなを笑顔にする 学園チャレンジ」を達成するために、1学期、たさんの子どもたちが色々な「学園チャレンジ」に挑戦してくれました。「1学期の間はどんなことにチャレンジしたか?」「チャレンジしたとき、どんな気持ちになったか?」「2学期、どんなことにチャレンジしようと思っているか?」「その頑張りを作文に書こう!」という企画を児童委員さんが考えてくれました。

応募してくれた作文の中から、低学年、中学年、高学年、それぞれ1作ずつ選び、終業式後の全校集会で読んでもらいました。

大縄大会結果
●低学年(1・2年) 2年組...59回
●中学年(3・4年) 4年組...111回
●高学年(5・6年) 5年組...169回

漢字検定合格者	
三級	
5年	
五級	7名
六級	13名
七級	7名
八級	12名
九級	18名
十級	16名

6月11日に、4年生全児童による6年美化委員が行いました。駅やタコノイ乗り場付近を中心に、子どもたちははじめて掃いたたり、ガードレールやゴミ拾いをしました。JR学研都市線は、小学校約400名の児童が利用

しています。公共の場である駅をみんなが清掃し、一般の方にも気持ちよく利用していただければと思います。



学園小学校のゆるキャラ 決定
今年度の児童会目標を全学年42枚の応募を受けて、児童委員会で話し合い、ゆるキャラに選んでいくのかについて話し合いました。その結果「学園のゆるキャラを作りたい!」という意見が出たので、全校児童にヒーローのゆるキャラとワルモノのゆるキャラを募集したところ、

全学年42枚の応募があり、そこから児童委員で、ヒーロー3候補、ワルモノ3候補にまで絞り、それをポスターにしてみんなに最終投票してもらいました。その結果、ヒーローは票総数577票のうち、244票を獲得した「なわがくちゃん」が学園のゆるキャラに選ばれました。

ゆるキャラヒーローに決めました。「なわがくちゃん」は体がフワフワです。触ると頭がビョーンとびびります。季節ごとに山の色が変わるそうです。そして、ワルモノは254票を獲得して「ワルG」に決めました。みんなが決めた学園ゆるキャラを、児童委員会で着ぐるみにする案を評画中です。お披露目は、ご期待ください。



遠足に行ってきました

初の遠足で貴重な体験

1年生



5月18日に神戸市立須磨海浜水族園へ行ってきました。水族園は大水槽をメインにさまざまな魚や生物たちを見ることができました。アザラシやペンギンなどかわいらしい生物に1年生のみんなは興味を持ち、初めての遠足は友達とも親睦を深め、貴重な体験がたくさんできた一日でした。

友達との親睦を深める

2年生



4月30日に京都水族館、梅小路蒸気機関車館に行ってきました。水族館では珍しい魚やペンギンなどさまざまな生物を見たり、触れたりすることができました。イルカショーでは水槽の水が生徒にかかる一場面も。午後梅小路公園で昼食をとり、蒸気機関車館に移動して大きな汽笛にみんな驚いていました。クラスメートとの友情を深め、有意義な時間を過ごすことができました。

いにしへの村を満喫

3年生



4月30日に奈良県にある明日香村に遠足に行きました。自転車を使ってさまざまな史跡や寺院を回りました。事前にグループに分かれてコースを考え、新しい友達と和気あいあいと作戦を立てていました。当日は晴天に恵まれ、奈良・明日香を思う存分満喫していました。



感謝の気持ち実感

2年生 宿泊研修

5月14、17日の3泊4日、岡山県吉備高原都市の「国立吉備青少年自然の家」へ宿泊研修に行ってきました。竹から食器を作り、かまどで薪に火をつけて野外炊事、テントで寝るサブバル生活でした。1日目は雨でしたが、2日目からは予定通り野外活動や田植え、食材を取って作るサブバルオリエンテーリングも行いました。家庭での普段の恵まれた生活に感謝の気持ちを持って4日間でした。

自然から学ぶ
1年生 宿泊研修
4月27、29日の2泊3日、福井県 国立若狭湾青少年自然の家にて宿泊研修を実施しました。好天に恵まれ、若狭の海を中心に野外活動ができました。一艇24人で刀を合わせたカッター訓練は最高の風で、元氣良く声を出し沖の鳥を目標に漕いでいました。



他にも、釣り、カヌー、船底から海中が見えるグラスボート、水中眼鏡を使った観察を楽しみました。

震災の傷跡から見たもの
3年生 修学旅行
5月17、21日にかけて4泊5日で東北方面に修学旅行に行きました。初日は新大坂から盛岡まで移動し、十和田湖を遊覧船に乗って楽しみました。2日目は奥入瀬渓流を散策し、小岩井農場を自然と触れ合いました。

3日目は、復旧した三陸鉄道、東日本震災の津波被害があった場所を巡りました。田老地区では破壊された建物や防波堤を巡り、現地の方のお話を伺い、津波被害の大きさを改めて思い知らされました。「わたしたちに何ができるのか」「何をすべきなのか」を考えるきっかけになったと思います。



●平成27年度漢字検定	合格者数	1学期(7月10日)実施分
2級	準2級	3級
2	11	38
9	4	
●平成27年度英語検定	合格者数	1学期(6月7日)実施分
2級	準2級	3級
1	14	40
18		
●平成27年度数学検定	合格者数	1学期(7月11日)実施分
進2級	3級	4級
1	13	8
5		



ホームステイで充実の2週間

今年も7月30日から14日間、中学2年生の32名がニュージーランドの姉妹校、マスタートン中学校を訪れました。生徒たちは各家庭1人ずつホームステイをしながらニュージーランドの文化に触れ、充実した2週間を過ごしました。多感な時期に異文化に飛び込み、新しい人間関係を築こうと努力できたことは、大きな成長につながると思います。

また、今年も姉妹校マスタートン中学校から生徒25名、教師4名の皆さんを受け入れました。一行は9月24日に無事関西空港に到着し、10月5日まで本校生徒宅にホームステイしました。今年で14回目の訪日となる交流で、これまでに約300人の生徒が本校で文化体験をしました。

学年別水泳大会が7月開催されました。日頃の練習成果を十分に発揮し、優勝チームと先生との対決もあり、大いに盛り上がりました。



水泳大会が開催

7月8日、講師として中野勝氏総務省近畿総合通信局をお招きし、「情報モラル講演会」を行いました。

9月26日、27日に文化祭開催されました。1日はホールでの合唱コンクール、英語暗唱、弁論大会、英語劇、吹奏楽部の演奏があり、吹奏と表現してくれました。2日目の展示の部では、

6月18日、スポーツ大会が行われました。小雨により、男子ソフトボールは、優勝チームと先生との対決もあり、大いに盛り上がりました。

がトシボールに變更も、全生徒が汗を流し、それぞれの種目に取り組み、ハイレベルな戦いが多く見られました。バドミントンでは優勝チームと先生との対決もあり、大いに盛り上がりました。

正しい携帯・スマホの使い方
情報モラル講演会

文化祭が開催
9月26日、27日に文化祭開催されました。1日はホールでの合唱コンクール、英語暗唱、弁論大会、英語劇、吹奏楽部の演奏があり、吹奏と表現してくれました。2日目の展示の部では、

説明会・入学試験日程

下記の日程で開催予定です。場所はすべて中学校若草校舎6階体育館。事前申込不要。※プレテスト・体験授業はHPより事前申込可能

- 説明会日程
 - 10月17日(土) 14:00~ 第2回入試説明会(プレテスト①)
 - 11月14日(土) 14:00~ 第3回入試説明会(プレテスト②)
 - 12月5日(土) 14:00~ 第4回入試説明会(入試対策会)
- 入学試験日程
 - 1次試験 1月16日(土) 8:40集合
 - 2次試験A 1月18日(月) 14:40集合
 - 2次試験B 1月23日(土) 8:40集合

国際交流20周年

異文化体験で日本を感じ取る

今年も姉妹校マスタートン中学校から生徒25名、教師4名の皆さんを受け入れました。一行は9月24日に無事関西空港に到着し、10月5日まで本校生徒宅にホームステイしました。今年で14回目の訪日となる交流で、これまでに約300人の生徒が本校で文化体験をしました。



生徒たちは、学校で日本語や書道など日本の授業を実際に体験しました。また京都・奈良・大阪城・USJなどを見学し、文化祭ではNZ文化を披露するなど、今年も有意義な滞在となりました。



文化祭が開催
9月26日、27日に文化祭開催されました。1日はホールでの合唱コンクール、英語暗唱、弁論大会、英語劇、吹奏楽部の演奏があり、吹奏と表現してくれました。2日目の展示の部では、

出さすきっかけを作ることです。1日10時間以上の学習活動を各教科創意工夫し時には学年縦割り班で先輩後輩が協力して課題を解決していく活動など、楽しくそして充実した合宿となりました。部屋割りも先輩と後輩の2人ないし3人部屋。今年も学習面だけでなく6年生の仲間意識が一層強まる行事となりました。

強まった仲間意識 6貫夏合宿



今年で6回目となります6貫恒例夏の合宿を行いました。この合宿は春や年度末実施の合宿とは違い学習中心の合宿です。目的は仲間と刺激し合い自分の力以上のものを引き

模擬講義を受講



京大総合人間学部杉山教授のご協力のもと毎年恒例となった京都大学の見学を今年も実施いたしました。今年も院生による京大の概要説明、各自が研究している内容を中学生にわかり易く発表をして

いただきました。3年生は別に同学部阿辻教授による「漢字のお話」という内容で模擬講義をしっかりと90分受講させていただきました。午後より1、2年生は京大博物館へ、3年生は京大生にインタビューをグループごとに実施。それぞれが大学での研究や大学生活について知る貴重な体験をしました。



6年一貫コース(中学部)

ダンス部スモールチームが 全国大会出場

8月17日、パシフィコ 国体勝大会にダンス部の
横浜・国立大ホール横 スモールチームが
浜市西区で開かれた第8
回日本高校ダンス部選手
権(ダンススタジアム)全
一ム、スモールチームが



インターハイ・水泳競技の報告

8月17～20日、京都アクアアリーナ(京都市右京区)で平成27年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)水泳競技が行われました。

No.50 男子 400mFリレー	
1 豊川	2:46.25
2 津田	2:46.25
3 津田	2:46.25
4 津田	2:46.25
5 津田	2:46.25
6 津田	2:46.25
7 津田	2:46.25
8 津田	2:46.25
9 津田	2:46.25
10 津田	2:46.25
11 津田	2:46.25
12 津田	2:46.25
13 津田	2:46.25
14 津田	2:46.25
15 津田	2:46.25
16 津田	2:46.25
17 津田	2:46.25
18 津田	2:46.25
19 津田	2:46.25
20 津田	2:46.25

国民体育大会・水泳競技の報告

第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)の水泳競技が9月11～13日、秋葉山公園県民水泳場(和歌山県秋葉町)で開催されました。

※少年Aは高2年と高3年、少年Bは中学3年と高1年が出場できます。

保育コース「リズム表現」 OSK団員による特別授業

9月8日、保育コースの2・3年生がOSK日本歌劇団(大阪市)の団員の方からダンスの特別授業を受けました。

特別授業は保育基礎科目「リズム表現」の時間に実施。プロにダンスを教わるにあたって、この日をとても楽しみにしていた生徒たちは朝から興奮気味でした。



授業のテーマは「リズム表現」を踊るようになり、OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。OSKのダンスの特別授業を受けました。

ともに全国優勝を目指し、昨年の大会直後から練習に励んできました。リズム表現、筋トレなどの基礎練習を重ね、卒業生の先生からアドバイスを受けながら頑張ってきました。三好里佳部長は「応援してくださった方に賞をとって感謝しをしたかった。辛い思いをしたが、どんな地区予選大会に臨んだ結果、残念ながらビッグチャンスは垂り越えられない。目標は向かってみんなで努力していくことを大切にしたい」と話しています。

「青春謳歌」文化祭 花開く工夫 9月18、19両日、文化祭を盛大に開催しました。今年初めて金曜・土曜日開催となり、盛り上がりは欠くのではと心配しましたが、来場者は2日間、795名を予想を大きく上回りました。企画した生徒会の役員は安堵した表情を見せていました。

PTA、後援会、同窓会の皆様の応援もあり、ダンス・クラブの発表も努力や工夫を凝らした素晴らしいものばかり。でもクラス対抗歌合戦は3年生が「さすが」と思わせる内容で会場を沸かせました。クラスが一致協力して歌合戦を盛り上げ、行事のテーマ「青春謳歌」に合ったものになったと思います。審判員を極めるほどレベルの高い発表ばかりでした。教員も事前に歌唱指導の時間を設けるなど成功に一役買いました。また、生徒の発表態度、鑑賞態度もよく、後輩の模範となりました。

「はみみ」をしながら「パッサー」という質問に掛け声を合わせて練習していき、ライダースの「一節がなんぞか踊れるようになって生徒たちは笑顔を見せていました。授業の最後は質問コーナー。「いつかからOSKに入りたいと考えるようになったのですか?」

「1日どれくらい練習しますか?」という質問にもわかりやすく答えてもらいました。授業終了後「OSK日本歌劇団認定授業「初級コース」認定書の賞状とカードを受け取った生徒たちは、団員の方に次の公演のチラシをサインをお願いするなどの最後まで大喜びでした。

5年生が「企業インターン」と「研究論文作成」に取り組んでいます。インターンは5～6人が1チームとなり、JR西日本、大塚製薬、パナソニック、森永乳業の4社に分かれて活動しています。企業から与えられた課題を解決し、報告ができるよう企業理念や社会のニーズなどをリサーチしながら11月の発表会に向けた準備を進めています。生徒たちは企業の方を招いて開催する発表会で斬新な提案ができるよう日々奮闘しています。研究論文は「QOL〜クオリティーオブライフ〜について」など各自で決めたテーマで、論文を書き進めています。QOLをテーマに取り組んでいる生徒は、国立循環器病研究センターを訪問、医学博士の先生へのインタビューなども実施しながら11月の論文発表会に向け、仕上げ段階に入りました。

グループに分かれて「企業インターン」に取り組む様子

6年一貫コース(高等部)

5年生 自分でプロジェクト

個人で「研究論文作成」に取り組む生徒



本学では、地域住民の皆様を対象として「いきいき生きる」をメインテーマとした市民公開講座を開催しています。平成27年7月4日(第14回)となる講座を開催、看護学部 藤原新子准教授による「このよるの血管の老化、聞いて納得!!血管若返り生活習慣のす・す・め」と題した、時間にと迫る講義が行われました。一般の受講者140名の皆さんは、普段から健康に関心の高い方ばかりで、熱心に講義に参加されていました。今後も大学における研究成果を地域の皆様に還元していきます。

研究成果を地域の力に 市民公開講座

看護学部 個別相談会・入試対策講座

10.24(日) 10:00~14:00
11.29(回) 13:00~15:00

場所：四條畷学園大学看護学舎

入試対策講座は、受験生にとって非常に重要な機会です。個別相談会では、入試に関する質問に丁寧に答え、入試の雰囲気や最新の動向についても詳しくお話しします。また、入試の勉強法やモチベーションの維持方法についてもアドバイスをさせていただきます。ぜひご参加ください。

四條畷学園にリハビリテーション学部が設立されて10年が経ちました。創立90年を迎える学園の歴史の一部にか過ぎませんが、大学の設立によって幼稚園から大学までを備える総合学園としての長年の悲願がかなったことになりました。



未知数の状態でスタート

大学の教育理念は、一般教養を培うとともに専門の学術技能を教授研究し、知能の啓蒙と応用能力の涵養を図り、人間性豊かな高い職業倫理観と高度の科学性と技術性を備えた医療専門職を世に送り出すことを使命とする、とうたっています。

リハビリテーション学科 創設時の想い出

元理学療法専攻専攻長 鈴木 康三

大学のリハビリテーション学部は、2000年1月に当時の理事長と学長が私の前職の京都大学に入学された時から歩みを進められたと振り返ります。その支援を必要としていた方々に温かく提供できるように、学園の教育に貢献できるように、

あの頃を振り返って

それぞれの大学の思い出



学園創立90周年にあたり、大学開学時の思い出を大学リハビリテーション学部長の森永敏博先生に、短大にリハビリテーション学科を増設した時の思い出を初代学科長の鈴木康三先生に語っていただきました。また、大学の第一期卒業生4名に大学時代の思い出を寄稿いただきました。

理学療法士の需要は未知数という中で、2000年に既存の短大にリハビリテーション学科を併設し、これを母体としてさらに創立80周年を節目に大学と

して改組したわけですが、本学の成功を横目に、社会的需要を背景にして関西一円続々と養成課程が新設されることになりました。そして今や全国規模で過当競争時代になっています。

他には先駆けてスタートした短大での卒業生と天学学部卒業生を合わせるという700名近くの上りまです。卒業生の社会的評価は非常に高く、その一部はすでに本学の臨床実習指導等に携わるなど母校の教育に貢献できるまで

に育っています。特に平成27年度からは卒業生が理学療法専攻助教として後輩の指導に従事しています。

第一期生 学園の思い出

強まった団結力

四條畷学園大学の一期生として卒業し、現在は理学療法士として勤務しています。1回生の頃は、一般教養科目とわずかな専門科目を履修するのみで比較的時間に余裕があり、先輩や仲間と飲み会等の遊びを通じて交友関係を広げました。2回生からは、専門科目が多くなり、理学療法士を目指すクラス全員がゼロからのスタートなので、互いに支え合い試験の数週間前から図書館が開まるまで仲間と勉強しました。そのころから、クラス全体の団結力が強くなっていったことを覚えています。3回生では実習や演習科目が始まり緊張感ある講義が続きました。技術面よりも、医療人、社会人としての礼節や態度、物事に取り組む姿勢など厳しく指導していただきました。そのころから将来医療人として患者さんを相手に働く意識が芽生え始めたと思います。4回生は3年間の集大成である約8週間の臨床実習と国家試験の勉強が一番の思い出です。国試勉強はストレスがかかる毎日でしたが、熱心に指導いただく先生方や仲間のおかげで難関を乗り切ることができました。

濃い時間の4年

私が四條畷学園大学を卒業して7年、大学で過ごした4年間は、人生で最も濃い時間でした。人との繋がりがやその大切さを強く感じた時間でもありました。私は理学療法士になるため、高校を卒業してすぐに四條畷学園大学へ入学しましたが、決して大きな大学ではありませんでした。共に過ごした同級生の数も、一つの教室で取まってしまう程度でしたが、苦楽を共にした仲間との繋がりは今でも最も強く、一歩の親友とも出会う事ができました。しかし卒業するまで全てが順調であったわけではなく、進路に悩んだこともあり、その時に支えてくれたのは友人だけではなく、恩師や親でありました。一人では卒業できませんでした。理学療法士としての今の自分は存在しなかったでしょう。辛い事もありましたが、今頭の中に思い浮かぶのは皆の笑顔で、今でも変わらず、会えば笑いが絶えず、同業者ならではの悩みも共有できます。友人達の活躍は私の原動力で、このような出合いを与えてくれた学園、親には感謝の気持ちでいっぱいです。皆様がそれぞれの上での仲間と出会えることを願ってやみません。

自治会での経験

四條畷学園が90周年を迎えるにあたり、自分の川での「四條畷学園史」を思い返してみました。1期生として入学した私は何もわからないまま学生自治会の役員となっていました。学業と同じくらい自治会での苦勞や思い出が鮮明に記憶されています。同じ「学園祭」という目標も様々な立場や考え方の人が集まり、意思決定がこんなにも大変だとは思いませんでした。我を通すことで衝突も、意思を曲げて総意に合わせることもありました。結果的に「学園祭」の目標が達成された時には「この人たちの集まりであればこそ成功」と思えるほど清々した感じが今でも思い出されます。現在、私は作業療法士として病院に勤務していますが、病院組織は大学の自治会以上に様々な立場や考え方の人たちが集まり、患者様に対してより良い医療を提供するために話し合っています。この時いつも自治会での話し合いを思い出します。「この人たちの集まりであればこそ成功」と、学園祭の成功の時と似たような清々しさを感じます。当学園の今後のさらなる発展を願ってやみません。

側にいてくれた仲間

故郷の四国を初めて離れて一人暮らしでの大学生活を始めました。知人や友人は近くにおらず、不安で心細く、何度も両親に電話を掛けた記憶があります。しかし、その不安は一変。大勢の方々に支えられた4年間でした。家族、友人、先生方、ご近所の方々…。かけがえのない出会いでした。共に助け合い、悩み、苦しい時間を過ごし、最後は笑い合った日々を送ったからです。近所の食堂のおじさんおばさんが親代わりとなって色んな物を作って食べさせてくれました。「お帰り」の一言が嬉しかったです。大学で学んだ「リハビリテーション」の意味は、機能回復と捉えられがちですが、本来の意味は「人間らしく生きる権利の回復」です。今は作業療法士として一人でも多くの患者さんがその人らしい生活を取り戻せるように努めています。現在の学生には「4年間の努力は決して裏切らない」と伝えたいです。沢山経験し、沢山悩んだ分、その経験が糧になります。四條畷学園大学の学生で良かったと心から思います。最後に、四條畷学園の更なる発展をご祈念致しております。

新設看護学部の魅力に迫る

看護学部へ入学し、 看護師への想いがさらに強まった

「看護部を志望した理由を聞いて身のお世話をし、終わりと印象でしたが、本当に祖父を尊重して接して知症を患い、病院に入院した際に、担当看護師の方が自分の想像を超える看護をしてくださいました。それまでは、治療と全てを受け止め、その時に

「看護部を志望した理由を聞いて身のお世話をし、終わりと印象でしたが、本当に祖父を尊重して接して知症を患い、病院に入院した際に、担当看護師の方が自分の想像を超える看護をしてくださいました。それまでは、治療と全てを受け止め、その時に

「看護部一期生、先輩もいない状況で選んだ理由は？」
他、大学も受けましたが、家から近かったことや充実した設備などが決め手です。一期生で先輩もいませんので、分からないことは遠慮せずに教

「看護部一期生、先輩もいない状況で選んだ理由は？」
他、大学も受けましたが、家から近かったことや充実した設備などが決め手です。一期生で先輩もいませんので、分からないことは遠慮せずに教

「看護部一期生、先輩もいない状況で選んだ理由は？」
他、大学も受けましたが、家から近かったことや充実した設備などが決め手です。一期生で先輩もいませんので、分からないことは遠慮せずに教

「看護部一期生、先輩もいない状況で選んだ理由は？」
他、大学も受けましたが、家から近かったことや充実した設備などが決め手です。一期生で先輩もいませんので、分からないことは遠慮せずに教



勝本さんの1日のスケジュール

- 6:30 起床、朝食、準備
- 8:15 通学
- 9:00 大学着、準備
- 12:15 昼食
- 13:15 授業
- 18:15 授業終了
- 20:00 帰宅
- 20:45 夕食など
- 23:00 就寝

「看護部一期生、先輩もいない状況で選んだ理由は？」
他、大学も受けましたが、家から近かったことや充実した設備などが決め手です。一期生で先輩もいませんので、分からないことは遠慮せずに教

森くんの1日のスケジュール

- 6:00 起床、朝食、準備
- 6:30 通学
- 8:00 大学着、準備
- 9:00 授業
- 12:15 昼食
- 13:15 授業
- 18:15 授業終了→帰宅
- 20:00 アルバイト
- 00:00 帰宅、勉強など
- 2:00 就寝

大阪市内在住
趣味は野球の18歳

大阪市内在住
趣味は読書の19歳

地域密着の四條畷学園へ 看護学部始動!!



四條畷学園大学看護学部
佐藤都也了教授

新設した看護学部の魅力は「看護師免許取得」に特化した点です。高校生や保護者の方とお話をすると、「複数の資格が取れた方が将来的に有効では」との意見も聞かれます。その時、私は「どういう看護を望んでいますか?」と尋ねます。現代は患者さんのニード(基本的欲求)も多様化しており、専門職としての能力を非常に求められます。看護師免許取得に絞り、専門的に深く勉強をすることは非常に意味があります。今までは保健師と看護師の国家試験受験資格がどの大学でも取

れました。資格が両方取れることはメリットでしたが、社会に出ると、看護師のニーズが非常に大きいのが現状です。本学部では看護学に特化し、講義・演習・実習というサイクルを繰り返し、各専門領域が絡み合うように、らせん状で学問を展開しながら4年間を過ごし、高い倫理観を持って看護を実践できる人材を育みます。学生の皆さんには自分で物事を考えられる人材になって欲しいです。看護師の向き不向きは他人が決めることではなく、本人にやる気がある限りは看護師に向いていると言えます。社会では自分自身で判断して行動できる人材が求められます。本人の判断力が最も重要です。看護学部はまだ1年目ですが、学園の歴史を感じています。大東市をはじめ近隣

の市も高齢化が進んでいます。地域に貢献し、地域密着の四條畷学園として100周年を迎えられるように看護学部も頑張ります。最後に、受験生の皆さんへ。今は一期生が本当に頑張っています。前期が終わり、非常にいいチームワークで看護に真摯に向き合い、後輩の入学を私たちが教職員と共に心待ちにしています。

四條畷学園大学看護学部の特徴

- 取得資格を看護師に特化し、看護学の専門的知識・技術をしっかりと身に付けるカリキュラム
- 講義・演習・実習のらせん状授業を通して、倫理観のある豊かな人間性を育む

学部のホンネアンケート
今春、開設した看護学部1期生85人のうち28人に、学園生活などに関する本音アンケートを実施しました。

